



令和5年度 名木野小学校

学校評価だより(後期)

令和6年
2月

名木野小学校の今年度の重点目標（目指す子どもの姿）は、「自分と仲間を好きになる子ども～名木野プライドをもつ子ども2～」です。この姿の実現を目指して、下記の3つの推進部会が中心となり、それぞれ目標とする姿（数値化）と重点取組を設定して、2学期も様々な教育活動の中で取組を行ってきました。

12月に行った学校評価アンケートの結果と子どもたちの様子、今後の取組についてお知らせいたします。

生きて働く「知識・技能」部会

【目指す子どもの姿】学習で用いる言葉の理解をもとに、音読や文章読解の力を高める子ども

【成果目標と結果】※評価については、「達成」をA評価、「おおむね達成」をB評価、「課題あり」をC評価とします。

	成果目標（評価基準）	7月	12月	評価
①	国語と算数のワークテスト「知識・技能」の平均正答率 （A：85%以上、B：80%以上）	86.1%	➡ 85.3% 国語：85.4% 算数：85.2%	A
②	児童アンケート「授業や音読の学習で、教科書をすらすらと読むことができますか」に、肯定的に回答した児童の割合（A：80%以上、B：70%以上） ※肯定的評価は、「よくできる」「だいたいできる」と回答した児童の割合です。	80.6%	➡ 79.8%	B

【重点的な取組】

- 学習で用いる用語を確認したり、掲示したりして、学習用語の定着を図ります。
- 学習した用語を使って発言させたり、文章を書かせたりして、学習内容の理解を図ります。
- 読みのめあてをもたせて、授業や家庭学習で音読に継続的に取り組み、読む力を高めます。

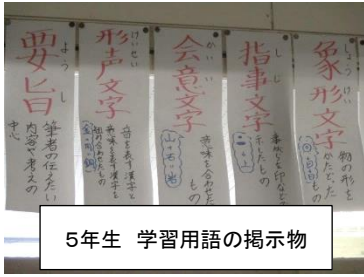
【成果と課題、今後の取組や改善点】

○ 7月の結果と比較して数値は少し低下しましたが、成果目標①はA評価、成果目標②はB評価でした。また、児童アンケートで「授業は分かる・できる」と肯定的に評価した児童の割合が88.1%（7月88.8%）でした。「知識・技能」に必要な基本的な学習用語や内容、漢字や言葉のきまりなどが身に付いてきています。

△「教科書をすらすら読むことができる」について、多様な音読方法を取り入れて教科書を読む活動や、様々な文章を活用して初見の文章に対する読みの力を高める活動等を行ってきましたが、「すらすら読めない」と捉えている児童が2割程度います。それぞれの児童の実態に応じた読みの力を高めていくことが課題です。

⇒ 学習した用語や内容を意識して使えるように教室掲示を工夫したり、授業のまとめで用いた学習用語が自分のものになるように次の授業の始めに前時のまとめを唱えたり説明したりするなど、学習内容の定着のための環境や活動をさらに充実させます。

⇒ 読むことについて、多様な音読方法を取り入れた読む活動を継続するとともに、他者（教師・仲間・家族）から認められる場を増やし、どの児童にも「読めた」という達成感と自信につなげていきます。また、読書の時間を大切にして、読むことの楽しさを味わわせます。



5年生 学習用語の掲示物



2年生 音読の様子



1年生 ブックトーク

未知の状況に対応できる「思考力・判断力・表現力」部会

【目指す子どもの姿】課題について、自分なりの問いや願いをもって、思考・判断・表現しようとする子ども

【成果目標と結果】※評価については、「達成」をA評価、「おおむね達成」をB評価、「課題あり」をC評価とします。

	成果目標（評価基準）	7月	12月	評価
①	国語と算数のワークテスト「思考力・判断力・表現力」の平均正答率（A：80%以上、B：70%以上）	81.5%	➡80.6% 国語：87.0% 算数：74.3%	A
②	児童アンケート「自分が考えたことや学んだことの振り返りを書こうとしている」と、肯定的に回答した児童の割合（A：80%以上、B：70%以上） ※「よくする」「ときどきする」と回答した割合	73%	➡70.2%	B

【重点的な取組】

- 思考力・判断力・表現力を高める追求課題が生まれる授業づくりを行います。
- 対話を重視した授業を工夫し、思考・判断・表現を促しながら学びを深めます。
- 追求課題に正対したノート指導や振り返りの書き方を指導し、思考力・判断力・表現力を高めます。

【成果と課題、今後の取組や改善点】

- 成果目標①については、数値が若干低下したもののA評価でした。特に、国語のワークテストの結果が伸びています。授業では、対話の時間を多く取り入れて思考・判断・表現する場を確保してきました。仲間との対話を通して学びを深めている児童の姿がたくさん見られるようになってきました。
- △ 成果目標②の結果が約3ポイント低下しました。振り返りの観点や書き方を児童に示し、自分が考えたことや学んだことの振り返りに生かせるように指導してきましたが、不十分な面がありました。
- ⇒ 各教科の3学期の学習において、どの学習のどの時間に重点的に振り返りの指導をするのかを決め、振り返りの時間の充実を図ります。
- ⇒ 振り返りで学びを確かなものにしていくためには、課題意識をもって主体的に学習に取り組むことが必要です。今後も、教職員間で授業研修や情報交換の場を定期的実施し、児童が考えたい追求課題の質を高め、児童が主体的、対話的に学びを深めていく授業を目指していきます。



3年生 対話の様子



6年生 対話の様子



1年生 授業の様子

学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力、人間性等」部会

【目指す子どもの姿】 人間関係を作る力を培い、協働して学びに向かうことのできる子ども

【成果目標と結果】 ※評価については、「達成」をA評価、「おおむね達成」をB評価、「課題あり」をC評価とします。

	成果目標（評価基準）	7月	12月	評価
①	児童アンケート「自分にはよいところがあると思う」と、肯定的に回答した児童の割合 (A:80%以上、B:75%以上) ※「よくある」「ときどきある」と回答した割合	79.9%	➡ 80.8%	A
②	児童アンケート「学校は自分の考えを伝えやすい雰囲気だと思う」と、肯定的に回答した児童の割合 (A:80%以上、B:75%以上) ※「よく話している」「話している」と回答した割合		84.4%	A

【重点的な取組】

- 学級の中で、自分や仲間のよさを伝え合う活動を日常的に位置づけ、自己肯定感高めます。
- ペア学年での活動・縦割り班（スマイル班）活動・2学年間交流など、異学年間の活動の場を計画的に設定し、集団への所属意識を高めながら、よりよい人間関係づくりの力を育てます。

【成果と課題、今後の取組や改善点、次年度に向けて】

- 成果目標①については、80%を超えA評価となりました。R4年7月77%→R4年12月78.8%→R5年7月79.9%、そして今回80.8%と、少しずつ向上してきています。今年度の重点目標「自分と仲間を好きになる子ども」に直結する評価項目として、このような向上が見られていることはとても嬉しいことです。
- 成果目標②については、7月は「友達に温かい言葉遣いで話していると思う」で評価しましたが、目指す子どもの姿をより適切に評価するため、12月は「学校は自分の考えを伝えやすい雰囲気だと思う」に質問内容を変更しました。2学期は、友達への言葉遣いを含めて、学年・学級の雰囲気づくりに力を入れて取り組み、A評価となりました。全ての学年・学級で、よさを伝え合う活動を工夫し、互いに認め合う場を意図的・計画的に設定した成果と考えます。
- △ 「自分にいいところがない」と感じている児童が約20%います。自分らしさやよさに気付いたり、実感したりできる活動や声掛け等を充実させていく必要があると考えます。
- ⇒ 3学期は、「なわ跳び大会」「いじめ見逃しゼロ集会」「6年生を送る会」等の活動があります。自分のめあてや役割を意識して取り組んだり、他の友達とかかわりながら成長したりすることができるよう全校体制で働きかけていきます。
- ⇒ 授業等の中で、自他のよさについて考える時間を意図的に設定したり、教師による価値づけを行ったりしながら、それぞれのよさについて視野を広げられるようにします。
- ⇒ 児童一人一人の自己肯定感が高まるように、結果や成果だけではなく、その過程を大切にしながら、がんばりを認め、褒めていきます。



3・4年生 草薙龍公演



スマイル班 読み聞かせ



5年生 ベトナム・ダナン市交流

★★★ その他の児童アンケート結果について ★★★

見附市共通児童アンケート（質問 25 項目）の中から、重点目標に関わる内容、児童の実態が分かる内容等の結果を紹介いたします。

【児童アンケート】

質問内容		7月	12月
①自分の学校のことが好きですか？	とても好き	41.8%	39.4%
	好き	45.7%	45.7%
	あまり好きではない	7.6%	11.9%
	好きでない	4.9%	3.0%
②自分の住んでいる地域や見附のことが好きですか？	とても好き	57.9%	60.6%
	好き	37.2%	34.1%
	あまり好きではない	4.3%	4.3%
	好きでない	0.7%	1.0%
③地域の人にあいさつをしていますか？	よくしている	32.2%	30.1%
	だいたいしている	45.1%	44.7%
	あまりしていない	18.1%	18.2%
	ほとんどしていない	4.6%	7.0%
④学校以外で、どれくらい読書をしますか？	だいたい毎日	21.4%	13.6%
	4・5日	9.2%	13.2%
	2・3日	28.0%	27.5%
	ほとんどしていない	41.4%	45.7%
⑤1週間にどのくらい家のお手伝いや仕事をしていますか？	だいたい毎日	35.2%	37.1%
	4・5日	14.5%	15.2%
	2・3日	28.9%	29.1%
	ほとんどしていない	21.7%	18.5%
⑥人の役に立つ人間になりたいと思いますか？	よく思う	54.3%	56.3%
	だいたい思う	36.5%	33.8%
	あまり思わない	6.6%	7.9%
	思わない	2.6%	2.0%
⑦将来の夢や目標をもっていますか？ （3年生以上）	もっている	56.7%	55.6%
	だいたいもっている	23.3%	23.4%
	あまりもっていない	12.6%	12.1%
	もっていない	7.4%	8.9%
⑧難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦していますか？（3年生以上）	している	30.2%	30.4%
	だいたいしている	55.3%	49.1%
	あまりしていない	13.0%	19.6%
	していない	1.4%	0.9%

児童アンケートの結果から、子どもたちの成長や課題等の実態分かりました。今年度も残りわずかですが、この結果を基に教育活動を見直し、次年度の教育活動につなげていきます。

今後とも、ご家庭や地域の皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。